

建築計画 (Architectural Planning II)

担当教員名	坂戸 省三、寺岡 宏治、三宗 司郎	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 4年 通年 2単位 講義	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 専門応用系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-3(30%) E-1(25%) H-1(45%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(g)
科目の概要	本講義は、学校建築、病院建築、住宅等々の建築計画学における各論を中心とする。それらに関して、学生がグループをつくり、建築学科学生として知っておくべき基本的知識を調べ、報告書を提出し、授業で発表する方式で授業を進めてゆく(計12回)。学生発表時には坂戸が補足、解説をおこなう。前期中間試験以前の期間は、建築計画における一般的、基礎的事項を坂戸が講義する。また建築設計の第一線で活躍する建築家である2人の非常勤講師は、建築設計業務の実際について講義する。	
テキスト(参考文献)	柳澤忠他:「建築計画 -計画・設計課題の解き方-」、共立出版	
履修上の注意	発表の2週間前に発表用レジメの原稿修正の指示を受け、1週間前には確認を受けること。発表に際しては、パワーポイントを有効に使うこと。報告書は一人当たりA4、7から8枚は書くこと。	
科目の達成目標	1) 建築計画学一般および各種建築の基本事項の習得。H-1 2) 自分たちで発表することで次の能力(建築計画にとっても重要な能力)を養う。多くの資料を全体的に見渡し、要点をつかみ、何らかの視点から整理して簡潔に構成し直し、人に伝える、という能力。E-1 3) 学生発表の準備を通じて自主的・継続的な学習能力(特に自主的側面)を養う。D-3	
自己学習	学生のグループ発表の準備として、まず基本的文献に目を通し、報告書の作業分担および構成を決める。分担に従って収集した資料を持ち寄り、報告書を作成し、さらに配布用レジメを作成する。発表2週間前には教員の指導を受け、発表内容、レジメを修正する。 実例に関しては文献のみではなく、できる限り身近にある建築を実地調査する。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	目標1) は前後期末テストおよび後期中間レポートで評価。 目標2)、3) はグループ発表(報告書・発表用レジメの制作、発表)で評価。 成績は、前・後期末テスト(50%)、グループ発表(報告書12%、発表用レジメ12%、発表態度12%)(計36%)、後期中間レポート(14%)を総合して60%に達したものを合格とする。 評価基準詳細。 テスト:教科書に記されている建築計画学一般および各種建築の基本事項の修得。グループ発表(報告書:各種建築の要点がおおよそ網羅されているか-なお実例調査を行った場合は加点。発表用レジメ:全体の構成が的確か、要点が的確に要約されているか。発表:はっきりとしたわかりやすい話し方、図や写真等の適切な使用。)なお自主的・継続的な学習能力に関する評価はグループ発表評価に含める。	
連絡先	sakato@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	建築計画II の授業の進め方とグループ分け 授業の進め方および建築計画学を勉強する上でのポイントの説明。発表のためのグループ分け作業。
第2週	フレキシビリティとエキスパンシビリティ 建築空間に対する利用者の要求は年月とともに変化してゆく。それに対応しうる計画手法を解説。
第3週	建築寿命のとらえかた 建築物の寿命といっても多様な捉え方がある。どのような寿命の概念があるのかを概説する。
第4週	中廊下型の発生と意味、連結の手法と分割の手法 中廊下型を例に、建築の平面型の事例と特徴を説明。後半はブロックプランをまとめる手法の解説。
第5週	計画段階と設計段階 建築設計に先立って企画・計画段階がある。この段階と設計段階を比較し、各々の内容を説明する。
第6週	建築協定の意義 住民による積極的なまちづくりや、地域の問題の住民間の自主的解決といったことに関連する建築協定について解説。
第7週	建築へのアプローチ01(寺岡講師) 街の見方、都市との接点、路上観察。
第8週	計画原論 人間性と空間について 人間が無意識に創りだし、かつ必要としている空間とはどのようなものか、心理学的視点から解説。
第9週	学校(グループ発表) 基本事項、建築計画、事例。教室の設計目標。小学校と地域の関係。運営方式とブロックプラン。
第10週	医療、保健施設(グループ発表) 基本事項、建築計画、事例。病棟計画における患者と看護婦。ナースステーションと病棟。病室設計
第11週	保育所、幼稚園(グループ発表) 基本事項、建築計画、事例。保育所と幼稚園の計画上の特徴
第12週	建築設計プロセス論(三宗講師) 講師の豊富な設計活動の経験をとおして、コンセプトと形を繋ぐ建築設計のプロセスについて考えてきたことを講義する。
第13週	住宅(グループ発表) 基本事項、建築計画、事例。家族の立場と住宅選定。ライフサイクルと住宅計画。DK の成立過程。
第14週	集合住宅(グループ発表) 基本事項、建築計画、事例。中高層集合住宅のアクセス方式。住棟配置計画。バルコニーの機能。
第15週	補足授業 前期の授業の補足、復習、質問等。
期末試験	

授業の計画・内容	
第16週	住宅地計画(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。住戸の集合形態と密度。田園都市論と近隣住区。クルドサック交通計画
第17週	事務所、銀行、官公庁(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。貸しオフィスビルの収益性と計画課題。高層ビルの防災計画。
第18週	建築へのアプローチ02(寺岡講師) 建築との出会い、建築の見方。
第19週	レクリエーション、スポーツ施設(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。市民体育館に求められる目的と機能。
第20週	商業施設(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。
第21週	オーディトリウム(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。建築計画に必要な専門分野の拡がり。
第22週	宿泊施設(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。ホテルの種類。
第23週	大スパン建築について(三宗講師) 大空間建築の計画について、目的、心構え、構造的視点、防災的視点、音響的視点、コスト的視点等々から講義する。
第24週	博物館、美術館、図書館(グループ発表) 基本事項、建築計画、実例。美術館の防備計画。図書館の出納システム。中央館と分館の機能図。
第25週	福祉施設 基本事項、建築計画、実例。身体障害者のための設計上の留意点。高齢者福祉施設の設立目標。
第26週	複合建築 基本事項、建築計画、実例。複合施設の問題点。
第27週	建築へのアプローチ03(寺岡講師) 設計実務を通じた創造の方法など。
第28週	建築設計におけるプロデュースについて(三宗講師) 商業施設によるまちづくり等を例にあげ、設計業務における企画、プロデュースの側面を解説する。
第29週	標準設計の有効性 建築平面の標準化の役割と限界の説明。
第30週	補足授業 授業の補足、復習、質問等
期末試験	